

2. センターだより

1. 情報メディアセンターにおける委員会活動

愛知大学情報メディアセンターには情報メディアセンター委員会があり、そのもとに名古屋センター委員会および豊橋センター委員会が置かれ、3校舎（名古屋，豊橋，車道）の管理，運営が行われている。

2004 年度後期に開催された、各委員会の議事は次の通りである。

名古屋センター委員会

◇第 4 回 10 月 2 日

報告事項

1. 名古屋校舎メディアゾーン PC 入替について
2. 2004 年度教員講習会について
3. 2005 年度学術情報データベース募集について
4. 名古屋校舎研究館棟セグメント DHCP システム停止について
5. メールングリスト管理者について
6. Windows アカウント申請について
7. 情報メディアセンター運營業務・組織について
8. 第 6 期システム・ソフトウェア予算について

報告事項

1. 法学部購入資料について
2. リムーバブルディスク利用申請書について
3. 停電によるシステム障害について
4. 愛大祭開催に伴う運営について
5. 秋学期入門ゼミについて
6. 教員のメディアゾーンにおける大量印刷について

◇第 5 回 10 月 25 日

1. 情報メディアセンター運營業務・組織について
2. 第 6 期システム・ソフトウェア予算について
3. 授業情報データベース募集のお知らせ

報告事項

1. 学術情報データベース募集のお知らせ

◇第 6 回 11 月 29 日

1. 2005 年度新規予算について

2. ICCS サーバ設置について

3. 研究館棟 DHCP システム停止について
報告事項

1. メールニュースサービスと教員向けアナウンスホームページについて
2. 学術情報データベース募集経過報告について
3. 情報化推進委員会、情報セキュリティ委員会の設置について

◇第 7 回 2 月 25 日

1. 2005 年度 実習室ソフトウェアについて
2. 2005 年度 入門ゼミについて
3. 電子メール講習会受講資格について
4. 2005 年度 経常費予算申請について
5. 第 3 実習室リムーバブルハードディスクの利用方法について
6. 学生アカウント初期パスワードについて
7. 生協パソコン講座における無線 LAN 接続実施について

報告事項

1. 開室時間変更について
2. 教員 IT 講習会について
3. 2005 年度 新相談員募集について
4. 2005 年度 新入生オリエンテーションについて
5. 大量印刷を行った教員への印刷代請求について
6. Vega における finger コマンドの停止

について

豊橋情報メディアセンター委員会

2004 年度

◇第3回 10月21日

1. 514 教室・情報ゼミ室の運用について
2. メディア教育開発室の運用について
3. 第6期システム教育用ソフトウェア予算について
4. 2005 年度 学術データベース募集について
5. 情報メディアセンター運營業務・組織について
6. 2004 年度 教員講習会について
7. その他

報告事項

1. 図書館関連について
2. センター利用状況について
3. その他

◇第4回 11月18日

1. 2005 年度予算について
2. メディア教育開発室の運用について
3. 第6期システム教育用ソフトウェア予算について
4. 2004 年度教員講習会について
5. その他

報告事項

1. 新研究棟 LAN 環境(計画案)について

◇第5回 2月24日

1. 2005 年度経常費予算について
2. ソフトウェア申請について
3. 2005 年度実習室ソフトウェアについて
4. OB アカウント申請の 2005 年度以降の取り扱いについて
5. その他

報告事項

1. 教員講習会の開催について
2. 学術 DB 開発進捗状況について
3. 各種利用統計について
4. その他

合同情報メディアセンター委員会

2004 年度

◇第2回 9月16日

1. 情報メディアセンター運營業務・組織について
2. 第6期システム導入作業の総括について
3. 第6期システム ソフトウェア予算について
4. メディア教育開発室の進捗状況について
5. 2004 年度 COM 発行計画について
6. 所長・副所長人事について
7. その他

◇第3回 12月8日

1. 2005 年度新規予算について
2. 学術情報データベース審査結果について

報告事項

1. 学内告知用一斉メールアドレスの運用変更について

◇第4回 1月20日

1. 情報メディアセンター運用業務のアウトソーシング(案)について
2. メディア教育開発室運営暫定規程(案)について
3. メールングリストサービス、ストーリーミングサービスの運用(案)について
4. その他

報告事項

1. 情報化推進委員会、情報セキュリティ委員会の発足について
2. Vega へのアタックについて
3. その他

2. 情報メディアセンター主催行事

講習会

◆名古屋校舎

開講日	曜日	講習会名	教室	参加人数
9月9日	(木)	電子メール講習会	第2実習室	1
9月13日	(月)	一般常識としての表計算実習(Excel入門)	第2実習室	中止
9月15日	(水)	電子メール講習会	第2実習室	14
9月16日	(木)	一般常識としての表計算実習(Excel入門)	第2実習室	10
9月20日	(月)	一般常識としての表計算実習(Excel入門)	第2実習室	15
9月22日	(水)	電子メール講習会	第2実習室	17
9月27日	(月)	レジュメの書き方(Word入門)	第2実習室	2
9月29日	(水)	PowerPoint講習会	第2実習室	6
9月30日	(木)	電子メール講習会	第2実習室	15
10月4日	(月)	一般常識としての表計算実習(Excel入門)	第2実習室	7
10月7日	(木)	電子メール講習会	第2実習室	11
10月13日	(水)	レジュメの書き方(Word入門)	第2実習室	6
10月14日	(木)	電子メール講習会	第2実習室	15
10月18日	(月)	一般常識としての表計算実習(Excel入門)	第2実習室	5
10月20日	(水)	電子メール講習会	第2実習室	中止
10月21日	(木)	電子メール講習会	第2実習室	15
		PowerPoint講習会	第2実習室	4
10月25日	(月)	一般常識としての表計算実習(Excel入門)	第2実習室	1
10月27日	(水)	レポート/卒論の書き方(Word応用)	第2実習室	8
10月28日	(木)	一般常識としての表計算実習(Excel入門)	第2実習室	5
11月1日	(月)	電子メール講習会	第2実習室	6
11月4日	(木)	電子メール講習会	第2実習室	11
11月10日	(水)	電子メール講習会	第2実習室	10
11月17日	(水)	レジュメの書き方(Word入門)	第2実習室	4
11月22日	(月)	電子メール講習会	第2実習室	10
11月24日	(水)	一般常識としての表計算実習(Excel入門)	第2実習室	3
11月25日	(木)	PowerPoint講習会	第2実習室	10
11月29日	(月)	レポート/卒論の書き方(Word応用)	第2実習室	1
12月1日	(水)	電子メール講習会	第2実習室	8
12月6日	(月)	PowerPoint講習会	第2実習室	2
12月8日	(水)	電子メール講習会	第2実習室	3
12月9日	(木)	レジュメの書き方(Word入門)	第2実習室	1
12月13日	(月)	電子メール講習会	第2実習室	8
12月15日	(水)	一般常識としての表計算実習(Excel入門)	第2実習室	2
1月12日	(水)	一般常識としての表計算実習(Excel入門)	第2実習室	1
1月13日	(木)	電子メール講習会	第2実習室	15
1月20日	(木)	電子メール講習会	第2実習室	10
1月26日	(水)	PowerPoint講習会	第2実習室	5

◆豊橋校舎

開講日	曜日	講習会名	教室	参加人数
10月6日	水	中国語IME入力のための講習会	421	6
10月21日	木	無線LAN講習会	413	3
11月11日	木	電子メール講習会	413	1
11月12日	金	パワーポイント講習会	413	0
11月13日	土	無線LAN講習会	413	1
11月16日	火	電子メール講習会	421	0
11月17日	水	エクセル講習会	421	0
11月19日	金	ワード講習会	413	2
11月24日	水	電子メール講習会	421	1
11月26日	金	パワーポイント講習会	413	1
11月29日	月	電子メール講習会	413	5
12月1日	水	エクセル講習会	421	4
12月3日	金	ワード講習会	413	1
12月7日	火	エクセル講習会	421	3
12月10日	金	ワード講習会	413	0
12月13日	月	パワーポイント講習会	413	3
12月16日	木	無線LAN講習会	413	2
1月11日	火	無線LAN講習会	413	1
2月16日	水	無線LAN講習会	413	2
2月21日	月	無線LAN講習会	413	1
3月15日	火	無線LAN講習会	413	1

◆車道校舎

開講日	曜日	講習会名	教室	参加人数
10月7日	木	一般常識としての表計算実習(Excel入門)	701	2
10月14日	木	電子メール講習会	701	2
10月28日	木	一般常識としての表計算実習(Excel入門)	701	2
12月9日	木	Power Point講習会	802	1
12月9日	木	電子メール講習会	802	2
3月18日	金	電子メール講習会	802	3

愛知大学名古屋情報メディアセンター主催・教員 IT 講習会開催

就業支援と個別学習支援の2つの機能をもつ統合型 e-Learning システム CEAS (Web-Based Coordinated Education Activation System) を使用することにより、多人数教育の負担を軽減させ、教育の質の向上を図るための活用方法ならびに関西大学の現代 GP の取り組みの紹介。

※ 参考ホームページ <http://ceasdemo.iecs.kansai-u.ac.jp/>

日時：2005 年 2 月 25 日（金） 13 時 30 分～15 時 30 分

演題：関西大学の現代 GP の取得紹介

授業支援型 e-Learning システム CEAS とその活用

講師：冬木 正彦（関西大学工学部教授）

場所：車道校舎本館 K804 教室

愛知大学豊橋情報メディアセンター主催・教員 IT 講習会開催

2005 年 4 月 1 日の個人情報保護法施行を直前にした現在、大学等においてどのような対策を講じるべきなのかを情報セキュリティをめぐる背景、概要、関連する認証制度も交えてわかりやすく解説。

情報セキュリティ対策の基礎を理解したい方、ISMS やプライバシーマーク等各種認証制度について理解したい方、セキュリティ監査制度とシステム監査制度との関係について理解したい方等大学において情報に関わる全ての方を対象とした内容。

日時：2005 年 3 月 4 日（金） 13 時 30 分～15 時 00 分

演題：個人情報保護時代の情報セキュリティ対策

講師：花田 経子（新島学園短期大学専任講師）

場所：豊橋校舎 4 号館情報メディアセンター・413 教室

参加者：教職員など 23 名

3. 情報メディアセンター運営会議構成員

情報メディアセンター運営委員 (2005年9月9日現在)

役職名		所 属	身 分	氏 名
所 長		短 期 大 学 部	助教授	龍 昌治
副 所 長		法 学 部	教 授	坂東 昌子
委員	豊橋センター運営委員	文 学 部	教 授	浅野 俊夫
		経 済 学 部	教 授	蔣 湧
		経 済 学 部	助教授	湯川 治敏
	名古屋センター運営委員	経 営 学 部	講 師	岩田 員典
		法 学 部	教 授	太田 明
		現代中国学部	教 授	土橋 喜

情報メディアセンター事務室

情 報 企 画 課	課 長	中村 直美
	係 長	宮部 浩之
	S E	秦 俊一郎
		小野 秀之
豊 橋情報メディアセンター	係 長	三浦 文博
	S E	石原 有希子
名古屋情報メディアセンター	係 長	鈴木 真弓

4. 愛知大学におけるコンピュータウィルスの動向及び対策について (3)

～ワーム編～

1. はじめに

前回、前々回のコムでは、電子メールを感染経路としたコンピュータウィルスに主眼を置いて、その動向と対策・特徴について述べました。

今回からは、世間に溢れるウィルスのうち、特に近年主流となっている「ワーム」「トロイの木馬」「スパイウェア」に的を絞り、その動向・対策などを述べたいと思います。

今回は、ワームを取り上げます。

2. ワームとは

従来のウィルスは、Excel や Word などのファイルに寄生しパソコン間を移動していましたが、そのようなファイルを必要とせず、ネットワークを経由して自分自身の力により繁殖を繰り返すことのできるウィルスのことを、特にワームと呼んでいます。

近年では、正常なプログラムに見せかけてパソコンに侵入するトロイの木馬型ウィルスと組み合わされた「ハイブリッド型」が主流となっています。

3. ワームの感染経路

電子メールを媒介して感染が進行する「電子メール感染型」と、電子メールを利用せず、OS のセキュリティホールを利用して TCP/IP の通信により感染が進行する「ネットワーク型」があります。

現在、被害が最も多いのは「電子メール感染型」と言われていますが、「ネットワーク」型は、セキュリティ対策がしていないパソコンであるとネットワークに接続して電源を入れるだけで感染してしまうため、新種のウィルスが発生すると非常に危険なタイプと言えます。

4. 代表的なウィルスと、その特徴

(1) 電子メール感染型

「Netsky」

IPA (情報処理推進機構) へのウィルス届出総数のうち 7 割を占めており (2005 年 7 月)、猛威を奮っています。Netsky は下記のような特徴を持っています。

- ・ 電子メールの送信者は偽装されます。
- ・ 「.zip」「.pif」「.scr」といった拡張子の不正プログラム (ワーム本体) を添付します。
- ・ 添付ファイルを開くと感染し、パソコン内の電子メールアドレスを収集して、取得したアドレス宛にウイルスメール (自身のコピー) を送信します。
- ・ 特定サーバーへの DoS 攻撃などを行います。

※その他にも、「Mytob」「Bagle」などの電子メール感染型ワームが蔓延しています。

(2) ネットワーク型

「Sasser」

2004年4月に発見されました。Windowsのセキュリティホールを利用して感染します。ネットワークに接続して電源を入れるだけで感染するため、世界的に大きな被害を与えました。

Sasserは下記のような特徴を持っています。

- ・ TCP445番ポートを利用して、ターゲットとなるパソコンを攻撃します。
- ・ 感染すると、Windowsがアラートを表示して、再起動を行います。

※その他には、「Blaster」などが流行し、世界的に被害を与えました。

5. 対策について

コンピュータウィルスに感染すると、自身のパソコンが正常に動かなくなることがあります。ところがワームに関してはそればかりでなく、他者のパソコンへの感染能力が非常に高く、また不正なトラフィックが爆発的に増大することによりパソコンが接続されたネットワークを麻痺させたり、サーバーをダウンさせたりするなど、周囲に多大な迷惑をかける可能性が非常に高くなります。

自身のパソコンを守り、また他者に迷惑をかけないためにも、確実なセキュリティ対策を施してください。ここまで紹介したいずれのウィルスについても、IPA（情報処理推進機構）が紹介している下記のウィルス対策を施せば、感染を防止できますので、今一度ご確認ください。

パソコンユーザーのためのウィルス対策 7ヶ条

1. 最新のウィルス定義ファイルに更新しワクチンソフトを活用すること
2. メールの添付ファイルは、開く前にウィルス検査を行うこと
3. ダウンロードしたファイルは、使用する前にウィルス検査を行うこと
4. アプリケーションのセキュリティ機能を活用すること
5. セキュリティパッチをあてること
6. ウィルス感染の兆候を見逃さないこと
7. ウィルス感染被害からの復旧のためデータのバックアップを行うこと

6. 最後に（本学での状況）

本学では、インターネットと学内LANとの間にファイヤーウォールやメールウィルスチェックサーバーを設置することにより、上記のようなワームの侵入・被害を最小限に食い止めています。被害は後を絶ちません。

教職員や学生の方などの所有するノートパソコンが、学外にてウィルス感染し、それを学内に持ち込んで何らかの方法でネットワーク接続することにより、感染が広がっているパターンが多いものと推測されます。

そういった被害を避けるためにも、各自のセキュリティ対策を怠らないようにしてください。

参考

- ・IPA（情報処理推進機構） <http://www.ipa.go.jp/index.html>
- ・シマンテック社 <http://www.symantec.com/region/jp/>
- ・マカフィー社 <http://www.nai.com/japan/security/>
- ・トレンドマイクロ社 <http://www.trendmicro.co.jp/>

（情報企画課 小野秀之）

5. 自己紹介

情報企画課

情報企画係長 宮部浩之

この度、4月1日付で情報企画課に配属になりました宮部浩之と申します。前職はコンピュータ会社のシステムエンジニアとして自治体システムの設計や構築、提案などを手がけておりましたが、愛知大学に採用された後は名古屋図書館に配属され、図書館の通常業務を遂行しつつ、当時システム検討を行っていた図書館情報システムの構築と運用に携わっておりました。その後名古屋教務課で3年間教務に携わった後、今回の配属となりました。

私がコンピュータ業界に入ってシステムを手がけた頃は、メインフレームと呼ばれる大型コンピュータがシステムの中心にありましたが、一部でUNIXサーバを利用したシステムが少しずつ出始めた頃で、今思えばコンピュータシステムの一大過渡期であったように思います。その後クライアントサーバシステムが登場し、さらにWebを利用した3層構造クライアントサーバが登場したその影で、当時システム構築の中心にいたメインフレームがその役割を終えつつあるのは周知の通りです。そんな中、私がお客様に提案していたクライアント端末はパソコンではなく、ワークステーションという大型端末でした。システム構成としては、メインフレームとワークステーションを使い、端末側にアプリケーションを持った、クライアントサーバシステム草創期のようなシステムで、業務プログラムを端末に格納するために100メガのハードディスクを用意しておりました。当時としては大容量のハードディスクだったのですが... 10年以上経った今では、メモリスティックに軽々と格納できてしまう世の中になり、つくづくコンピュータの進化と、それに追いついていかなくはならない私達情報に携わる者の宿命(笑)を感じずにはいられません。

情報処理に関わる教育も、ここ十年くらいで大きく変化してきているのではないのでしょうか。ネットワークの回線速度は9年前の1Mbpsに比べるとなんと1,000倍に拡充されました。その高速ネットワーク回線を生かし、多地点制御装置を使った遠隔講義は学内で開始されてから2年目を迎え、パソコンを使った授業も10年前に比べるとかなり多くなってきたように見受けられます。

今後、メディアセンターを中心とした情報メディア教育がより一層発展し、学生の教育に大きく関わっていく中で、私も情報メディア教育の支援という形で参加し、携わっていきたいと思っています。まだまだ不慣れな点はございますが、今後ともよろしくお願いいたします。

6. 編集後記

編集後記

今回の「COM」では三本の意義深い論文を皆様にお届けすることができました。

宮田、土橋氏の「インターネット社会の安全性を確保するための国際的取り込みに関する考察」では、現代の国際社会において政治問題の対立に伴い、多発したサイバー攻撃に着目し、その実態と国際社会への深刻な影響をまとめています。サイバーテロ対策について、ネットワークのセキュリティ技術の向上だけではなく、法的な整備や組織的な制度などを含めた国際的な取り込みを検討し、それらの問題点を整理しています。いずれも情報社会の発展にとって大変重要な問題であり、ぜひご高覧のうえ、ご意見をお寄せいただきたいと思います。

中西氏と斉藤氏の研究論文は、それぞれ中国語の教育と研究に関わる IT 技術の活用を取り上げています。これらは、中国語ばかりではなく、多くの国際的な研究と教育に携わる教員と学生にとって、非常に身近で現実的な問題です。意欲的に研究や教育に取り組んでおられる皆さんには、すぐにでも大変参考になるでしょう。

COM における論考を積み重ね、国際社会における情報技術の発展に寄与するとともに、大学の教育研究に関わる情報技術の活用が、さらに活発化することを期待します。皆さんの、投稿をお願いいたします。

(Y.J)

愛知大学情報メディアセンター紀要 COM〔コム〕

Vol. 16 No.1 第28号

2005年9月25日 印刷

2005年9月30日 発行

編集 愛知大学情報メディアセンター

「COM」編集委員会

発行 愛知大学情報メディアセンター

(名古屋) 愛知県西加茂郡三好町黒笹370

〒470-0296 TEL (0561) 36-1117 (直通)

FAX (0561) 36-2781

(豊橋) 豊橋市町畑町1-1

〒441-8522 TEL (0532) 47-4124 (直通)

FAX (0532) 47-4125

(車道) 名古屋市東区筒井2丁目10-31

〒461-8461 TEL (052) 937-8120 (情報企画課直通)

FAX (052) 937-8121

印刷 有限会社 三星印刷

情報メディアセンター教育用パソコン機種および設置台数

○車道校舎

設 置 場 所	機 種	台数
メディアゾーン	HITACHI FLORA 310	74
K701	TOSHIBA Satellite J11	35
K802	TOSHIBA Satellite J11	35
K804	TOSHIBA Satellite J11	50
車道 計		194

○豊橋校舎

設 置 場 所		機 種	台 数
情報メディアセンター (4号館)	420教室	HITACHI FLORA 310W	78
	421教室	HITACHI FLORA 330W	52
	423教室	HITACHI FLORA 330W	58
	424教室	Toshiba dynabook SatelliteJ11	50
	413教室	HITACHI FLORA 350W	25
5号館	514教室	Toshiba dynabook SatelliteJ11	25
	523教室	HITACHI FLORA 330W	50
大学院		HITACHI FLORA 330W	4
研究所		HITACHI FLORA 330W	9
豊 橋 計			351

○名古屋校舎

設 置 場 所		機 種	台数
情報メディアセンター	第1実習室	HITACHI FLORA 330W	60
	第2実習室	HITACHI FLORA 310W	45
	第3実習室	HITACHI FLORA 350W	20
	オープンフロア	HITACHI FLORA 330W	19
中央教室棟	マルチメディア教室	HITACHI FLORA 310W	60
東教室棟	E201教室	HITACHI FLORA 330W	60
	E202教室	HITACHI FLORA 330W	40
大学院		HITACHI FLORA 330W他	10
研究所		HITACHI FLORA 330W	13
名古屋 計			327

総合計 台数	872
--------	-----

メディアゾーン

○豊橋校舎

設 置 場 所		機 種	台数
図書館棟1F	メディアゾーン	HITACHI FLORA 350W 他	30
計			30

○名古屋校舎

設 置 場 所		機 種	台数
図書館棟2F	メディアゾーン	Optiplex GX 520/DELL 他	75
計			75